



ま ちかご インタビュー

農産物の安全・安心を届けるため 収穫したコメの全量全袋検査もスタート

3年ぶりのコメの本格的な出荷に向けた収穫作業が始まり、収穫したコメの全量全袋検査もスタートしました。

また、一ツ沼直売所が、約2年4カ月ぶりに再開し、モニタリング検査を受けた町内産の新鮮な農産物が店頭にならんでいます。

少しずつですが、日常の風景が戻ってきています。今回、農産物に関する感想や想いをお伺いしました。



あべ ちえこさん
阿部 智恵子 (上北迫・土ケ目木)

ピーマン、ナス他)を作付けました。

野菜は、必ず食品モニタリング検査を受けてから食べれています。

私は、畑仕事が好きでしたが、震災以降は休耕していました。
今年は3年ぶりに以前の5分の1の面積で自家用の野菜(ジャガイモ、トマト、



いながわ まさこさん
稲川 政子 (下浅見川・桜田)

町で作られて店頭に並んだ

野菜のなんと、シャキシャキ、パリパリで、どれを口にしても美味しいことか。風評被害よりも食べてみてわかる、このふるさとの誇りとピカピカの野菜たちの生きる力を。

事故が起きてからはじめて町で獲れたこの物を口にできて、なんと幸せでおいしいんだらうと改めて気づき、おいしいが次の一歩を作るんだと感じています。

編集後記

暑かった今年の夏、郷土の復興を祈念して、夜の空に上がる大輪の「花火」。

町を築いてきた先人たちの精霊に手を合わせ祈った、お盆。自分の気持ちを再度奮起させ、次の世代につなぐ町づくりに努力することを誓う。

試験栽培を経て作付再開された水田に黄金色の稲穂がなびく、一方倒伏する水田があり収穫作業に影響を与えている。来年は町内の全部の水田が作付されるとうれしい。

今回の「議会だより」は24年度の決算審査が主で、復旧・復興へ取り組んだ今までにない決算額を

認定しました。その内容を編集委員が詳細に検討し発行するものです。

ご意見をお寄せください。

(渡邊正俊)



風にそよぐ稲と彼岸花

発行・編集責任者

議長 鈴木紀昭

広報委員会

- 委員長 渡邊正俊
- 副委員長 北郷幹夫
- 委員 塩 史子
- 委員 渡辺久長
- 委員 畑中大子
- 委員 小磯利雄

次の定例会は12月です